

静岡大学同窓会東京交流会へのメッセージ

静岡大学学長 伊東 幸宏



静岡大学同窓会東京交流会の開催、おめでとうございます。2013年に続き、全学部の同窓会が揃った催しとなります。静岡大学を代表しまして、有り難く厚くお礼申し上げます。

ご承知のように、大学を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、特に国立大学法人化以降、その勢いはとどまるところを知りません。運営費交付金が毎年1%削減され、教職員も大幅に減員いたしました。現在静岡大学では「勉強するなら静岡大学」の旗印のもと、第2期中期計画期間を乗り切り、今年度から第3期に入ったところです。

大学改革の3類型は、世界的な得意分野を伸ばしつつも地域社会に根を下ろそうという本学のミッションに基づき、地域のニーズに応える人材育成・研究を推進する方向を選択しました。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」にも採択され、他大学、自治体、企業と連携して県内就職率の向上、新産業の創出、地域活性化に取り組んでいきます。

学生の学習やキャリア支援など教育面での改革をすすめており、全学部の学問領域を横断する教育プログラム「地域創造学環」を開設しました。また、静岡大学の強みを結集した電子工学研究所、グリーン科学技術研究所を中心に、世界中から注目される研究成果をあげていきます。とりわけ光科学技術領域では、浜松医科大学、光産業創成大学院大学、浜松ホトニクスと共同で立ち上げた「光創起イノベーション研究拠点」が注目を浴び、世界の研究拠点となるべく力強く動き始めました。

また、「静岡大学サポーターズクラブ」(<https://SSC.shizuoka.ac.jp>)、「静岡大学未来創生基金」(<https://www.shizuoka.ac.jp/fund/>)も活動しています。「オール静岡大学」として、どうぞ卒業生のみなさまのお力をお寄せください。

静岡大学で育んだ「縁と絆」を、今の静岡大学にお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

静岡大学学生歌

作詞…高嶋善二
作曲…石井 歆

一、沖に流れる(流れる)黒潮や

富士の高嶺のそれよりも(それよりも)

深く 気高く たくましく

われら未来をめざす若人の

われら(われら) われら(われら)

われらは静岡大学

われら(われら) われら(われら) われら(われら)

われらは(われらは) 若人

二、岡にただよう(ただよう)茶の香り

みかんの花のそれよりも(それよりも)

若く 清く すこやかに

われら 文化を担う 仲間たち

われら(われら) われら(われら)

われらは静岡大学

われら(われら) われら(われら) われら(われら)

われらは(われらは) 若人

三、潮満ちくる浜名湖や

三保の浜辺のそれよりも(それよりも)

青く 広く 美しく

われら 真理をもとむ 青年の

われら(われら) われら(われら)

われらは静岡大学

われら(われら) われら(われら) われら(われら)

われらは(われらは) 若人